

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		25900 漁港改修事業	予算科目	会計 一般	款 6	項 3	目 1	所管課	農水産課	担当班	振興班	
施策体系	基本施策	1 農水産業の振興	根拠法令	地方財政法第27条第1項				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	施策の展開	3 水産業の振興	戦略事業	19 漁港改修事業								
	施策の展開		戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	千葉県が実施する漁港関係単独事業の地元負担金の支払に関係する事務 ①負担金協議(県→旭市) ②協議回答(旭市→県) ③負担金納入通知(県→旭市) ④負担金の支出(旭市→県) ⑤地元負担金の請求(旭市→海匠漁協) ⑥海匠漁協が地元負担金の取りまとめ(匝瑳市・横芝光町分) ⑦地元負担金の納入(海匠漁協→旭市) 1. 漁港整備事業 負担内訳 県1/2、地元負担1/2 2. 特定漁港浚渫事業 負担内訳 県3/4、地元負担1/4 ※地元負担:海匠漁協1/2、関係市町村(船籍割)1/2(旭市30%、匝瑳市17.5%、横芝光町2.5%)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
飯岡漁港は、昭和28年に第1種漁港(その利用範囲が地元の漁業主とするもの)に指定され、昭和43年度に一部供用開始となり、海匠漁業協同組合加入の漁業者が利用している。長年の流砂埋没への対策強化として、外郭堤防も重点的に整備されてきた。しかし、流砂による影響はあるため、漁港を管理する千葉県により、漂砂堆積の浚渫や漁港内道路等の維持補修(改良)が県単独事業で実施されている。	特になし	特になし

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	
1.負担金補助及び交付金	2,067 漁港整備事業負担金、特定漁港浚渫事業負担金
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	1,447 地元負担金(海匠漁協、匝瑳市、横芝光町)

費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1. 負担金補助及び交付金	千円	1,756	1,376	820	2,067	13,228
事業費計(A)	千円	1,756	1,376	820	2,067	13,228
財源						
1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円					
4. その他	千円	1,172	964	574	1,447	7,422
5. 一般財源	千円	584	412	246	620	5,806

前年度増減理由	浚渫工事実施のため
---------	-----------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

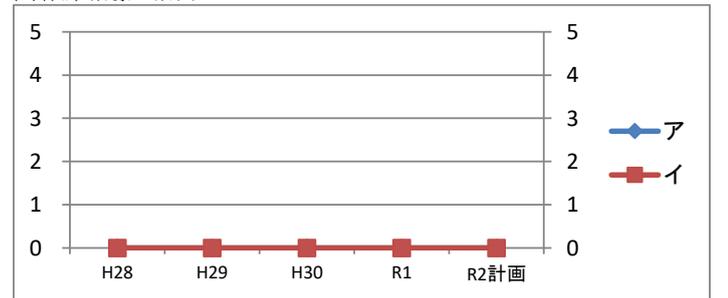
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ・漁港整備事業(漁港内道路側溝等補修)	ア 浚渫回数	回	0	1	0	1	1
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象意図 漁業経営者 飯岡漁港内の安全な運航等 対象意図 漁業関係者 飯岡漁港内の道路等の安全な運行	ア 漁港内における航行時事故件数	件	0	0	0	0	0
		イ 漁港内道路等における事故件数	件	0	0	0	0	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)			向上	向上	27年度 28年度 29年度 30年度 1年度 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画 ア 0 0 0 0 0 イ 0 0 0 0 0
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主要事項について記載)	時期	内容		今後の方向性		
	年度内	・漁港整備事業(道路補修、公園施設補修) ・特定漁港浚渫事業(深淺測量、浚渫)		<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他() 例年どおり実施		